

開催日時：2025年12月4日 18:00 開催

開催場所：標津町生涯学習センター「あすばる」

参加者：ワーキンググループメンバー、教育委員会事務局、久米設計

テーマ：しべつのいまとこれからの“学びの場”を考える

これからの“こどもたちのため”の学びを通じた居場所づくりを考えるにあたり既存施設の魅力や課題など今の学びの場について意見交換を行った。それらの意見から、これからの学びの場や新施設に期待することや、こんなことをやってみようなど新施設への思いについてグループごとにディスカッションを行った。



ファシリテーターによる「まなびの場づくりへの想い」のプレゼン



グループごとにお互いの意見を聞き、話し合う



各グループでの意見を全体で発表する、聞く

テーマ

しべつのいまとこれからの“学びの場”を考える

意見

- プールの通年利用 ○プールは無料が望ましい（ただし利用率等を含めて計画を精査すべき）
- 大人も給食を食べられる機会やイベントの開催
- 放課後の空き教室の習い事
- みんながつながる場づくり
- 地域住民が憩える飲食スペース（コンビニ自販機やカフェマシなど）
- 時間で部屋（教室）を借りて親や地域の人が使える（こどもの見守り）
- 音楽室がカラオケルームなど地域開放スペースとして利用
- 地域の自習スペース（高校生等の居場所）
- 野球の大会が継続できるような（周辺敷地も含めた）施設整備
- 異学年で一緒に活動できる仕掛けづくり（団体やグループでの活動）
- 1つの施設になっても多様な場がある居場所づくり
- 本を読む場の提供（本でのつながり、雨の日の居場所、地域交流） ○教室内の図書教材の充実化
- こどもの遊びを広げる場づくり（頭だけでなく、身体を使う体験） ○ゆめの森公園のような屋内運動（遊戯）室の整備 ○通年を通して、もっと身体を使った学び場、
- 自由にもつくりできる場づくり
- オンライン学習がスムーズにできる設備環境
- 様々なことにチャレンジできる、自由度の高い体育館や校舎であるべき
- 子供を地域が見守り育てるしくみづくり
- 生き物と触れ合える場所（動物、植物） ○標津の生き物にふれあい、1次産業に触れて、食べる食育までを体験
- 快適な学習環境 ○冷暖房設備の完備

キーワード

みんなで“使える”まちと“つながる”学び場

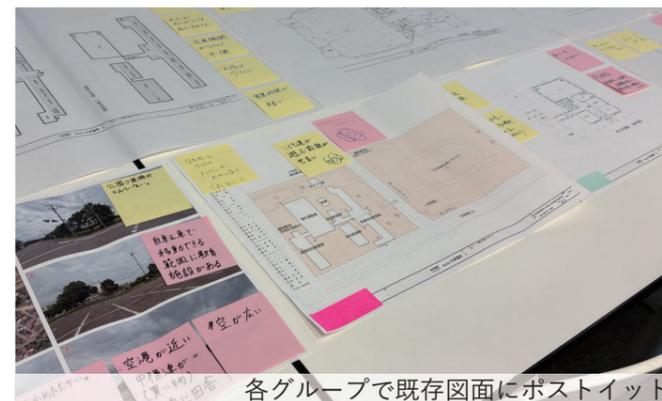
みんなが“憩える”個人の“居場所”の学び場

標津の自然と共生する快適な学び場

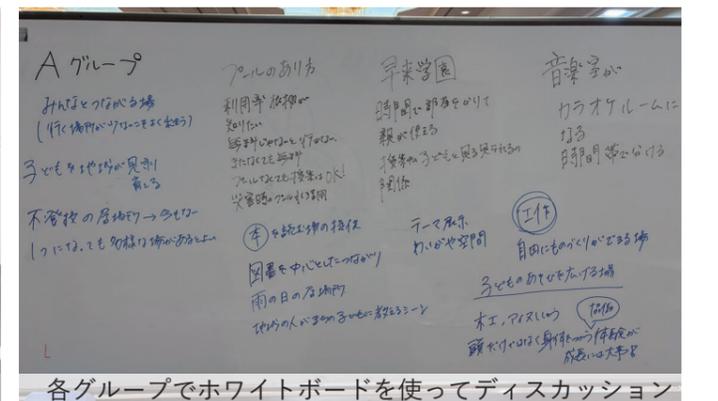
心と身体文化とスポーツを育てる学び場

多様な活動と居場所を選べる学び場

地域と見守る安心安全な学び場



各グループで既存図面にポストイット



各グループでホワイトボードを使ってディスカッション